

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年9月7日 (2017.9.7)

【公表番号】特表2016-531907(P2016-531907A)

【公表日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2016-059

【出願番号】特願2016-531574(P2016-531574)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/28

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/00 Z

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月31日 (2017.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

免疫応答の刺激によって回復する症状の処置において使用するための、抗ヒトCD27アゴニスト抗体またはそのCD27アゴニスト抗体アナログであって、前記処置では、少なくとも1つの免疫チェックポイントタンパク質阻害剤が投与される、抗ヒトCD27アゴニスト抗体またはそのCD27アゴニスト抗体アナログ。

【請求項 2】

免疫応答の刺激によって回復する症状の処置において使用するための少なくとも1つの免疫チェックポイントタンパク質阻害剤であって、前記処置において、抗ヒトCD27アゴニスト抗体またはそのCD27アゴニスト抗体アナログが投与される、少なくとも1つの免疫チェックポイントタンパク質阻害剤。

【請求項 3】

免疫応答の刺激によって回復する症状の処置において使用するための、抗ヒトCD27アゴニスト抗体またはそのCD27アゴニスト抗体アナログと少なくとも1つの免疫チェックポイントタンパク質阻害剤との組み合わせ。

【請求項 4】

前記症状が抗原特異的Tリンパ球の刺激によって回復する、請求項1～3のいずれか1項に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 5】

免疫刺激によって回復する前記症状が、感染症；病原体に対する免疫化；あるいはトキシンまたは自己抗原に対するワクチン接種；ならびに、無制御の細胞増殖に関連する症状からなる群から選択される、請求項1～4のいずれか1項に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 6】

前記感染症が、細菌感染症、真菌感染症、ウイルス感染症および寄生生物感染症からなる群から選択される、請求項5に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 7】

前記病原体が、細菌、真菌、ウイルスおよび寄生生物からなる群から選択される、請求項5に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 8】

前記トキシンまたは自己抗原が、良性腫瘍もしくは悪性腫瘍上に発現される抗原を含む、請求項5に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 9】

無制御の細胞増殖に関連する前記症状または前記良性腫瘍もしくは悪性腫瘍が癌である、請求項5～8のいずれか1項に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 10】

免疫応答の刺激によって回復する前記症状が癌または感染である、請求項5～8のいずれか1項に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 11】

処置がワクチン接種であり、ワクチンが該処置において投与される、請求項1～10のいずれか1項に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ。

【請求項 12】

抗ヒトCD27アゴニスト抗体またはそのCD27アゴニスト抗体アナログを含み、さらに少なくとも1つの免疫チェックポイントタンパク質阻害剤を含む、ワクチン。

【請求項 13】

前記抗ヒトCD27アゴニスト抗体が、配列番号1、2、3、4、5、6のCDRアミノ酸配列またはバリエーション配列を含む抗ヒトCD27アゴニスト抗体；抗体hCD27.15のヒト化アナログ；hCD27.15と同じエピトープに結合する抗体hCD27.15のCD27アゴニストアナログ；抗体1F5；架橋を必要としない抗ヒトCD27アゴニスト抗体；および抗体hCD27.15からなる群より選択される、請求項1～12のいずれか1項に記載の抗体、阻害剤または使用するための組み合わせ、または、ワクチン。

【請求項 14】

前記少なくとも1つの免疫チェックポイントタンパク質阻害剤が、CTLA-4、PD1、PD-L1、PD-L2、LAG-3、BTLA、B7H3、B7H4、TIM3またはKIRの阻害剤からなる群から選択される、請求項1～13のいずれか1項に記載の抗体、阻害剤、使用するための組み合わせ、または、ワクチン。

【請求項 15】

前記免疫チェックポイントタンパク質阻害剤が、抗CTLA-4抗体；抗PD1抗体、抗PD-L1抗体、抗PD-L2抗体；抗LAG-3抗体、抗BTLA抗体、抗B7H3抗体；抗B7H4抗体、抗TIM3抗体；および抗KIR抗体からなる群より選択される

、請求項 1 ～ 1 4 のいずれか 1 項に記載の抗体、阻害剤、使用するための組み合わせ、または、ワクチン。

【請求項 1 6】

前記抗 P D - 1 抗体が、ペンプロリズマブまたはニボルマブである、請求項 1 5 に記載の抗体、阻害剤、使用するための組み合わせ、または、ワクチン。

【請求項 1 7】

前記抗 L A G 3 抗体が、それぞれ配列番号 2 3 および配列番号 2 4 の重鎖アミノ酸配列および軽鎖アミノ酸配列を含む、請求項 1 5 に記載の抗体、阻害剤、使用するための組み合わせ、または、ワクチン。